

秋田市教育委員会
会 議 録

平成31年1月定例会

秋田市教育委員会平成31年1月定例会会議録

- 1 日 時 平成31年1月24日(木)
午後3時30分～午後4時40分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
学校適正配置推進室長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室参事
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
総務課副参事
学校教育課長補佐
生涯学習室長補佐
総務課主席主査
学校教育課主席主査
生涯学習室主席主査
総務課主査
学校教育課主査
生涯学習室主査
総務課主任

総務課主任

5 議 題

【付議案件】

議案第1号 秋田市学校運営協議会規則を設定する件

【協議事項】

(1) 平成31年度当初予算（案）に関する件について

【教育長等の報告】

(1) 平成30年度「新成人のつどい」の結果について

6 議 事 午後3時30分開会

【欠席の報告】

教育長が委員1名から定例会を欠席する旨の届出があったことについて報告した。

【平成30年12月定例会会議録の承認】

平成30年12月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第1号 秋田市学校運営協議会規則を設定する件

教育長 議案第1号「秋田市学校運営協議会規則を設定する件」について、事務局から説明願う。

学校教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 第8条「職員の任用に関する意見の対象となる事項等」について、「基本的な方針の実現に資する事項」とは、どのようなことか。

学校教育課長 学校の経営方針のもと、各校の特色や活動を充実させるために必要となる人材のニーズについてである。

校長が協議会の委員としてそのニーズを受け止め、必要に応じて、秋田市教育委員会に対し人事の具申と合わせて意見を述べるといったことが想定される。

委員 学校評議員の会と学校運営協議会の会議の違いはなにか。

学校教育課長 学校評議員の会は、校長の求めに応じて、評議員が学校運営に意見を述べる会議である。

学校運営協議会の会議は、校長も委員の1人であり、校長や、PTA、体育協会、見守り隊などの地域の団体の代表が学校の特色を活かすためにタッグを組み、地域や学校の課題に対して協議する会議である。学校運営協議会は、課題解決に向けて、より実効性のある組織といえる。

委員 学校評議員と学校運営協議会は、並列に存在するのか。

学校教育課長 学校運営協議会の設置により、学校評議員は発展的解消となる。しかし、これまでの評議員との関係性があるため、多くの学校では評議員がそのまま学校運営協議会の委員となるのではないかと考える。

教育長 学校評議員を母体にしつつ、更に委員が増え、広がりのある組織ができるイメージである。

委員 第3条のただし書きについて、校長の異なる一小一中であっても、2校で一つの協議会を設置できるのか。

学校教育課長 設置可能である。現在、校長の異なる一小一中の中には、豊岩小、豊岩中のように学校評議員会を一緒に開催している学校もあれば、下浜小、下浜中のように必要に応じて一緒に開催している学校もあり、それらの学校では2校で一つの学校運営協議会を作る素地ができているといえる。

ただし、学校の経営方針について、2校で共通して実施する事項やそれぞれ特色を出す事項等を話し合った上で、小中で一つの協議会を作りたいという話があることが前提となる。

委員 子ども同士のトラブルや教職員の不祥事への対応について、協議会で取り上げることもあるのか。

学校教育課長 協議会では、子どもや先生方の活躍ぶりのほか、抱えている課題についても話題になると考える。その中で、学校に関する要望については、真摯に受け止めなければならない。話題によっては、学校のみが対応する問題であるかどうかとも合わせて協議するケースがあると考ええる。

委員 学校で起きた問題について、地域とともに考え解決するという発展的な会議になる可能性があるのか。

学校教育課長 委員が述べたように、そのような広がりを見せることが、コミュニティ・スクールの目指すべき姿である。

※ 議案第1号については、全員賛成により、議決された。

【協議事項】

【非公開の議決】

教育長 協議事項(1)「平成31年度当初予算（案）に関する件」については、今後議会に提出され、審議される案件となる。よって、現段階では公の場で審議した場合、事務局の説明や出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがあるので、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うがどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決した。

【教育長等の報告】

(1) 平成30年度「新成人のつどい」の結果について

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 今回、参加率が低かった理由は何か。

生涯学習室長 今回の参加率は8割を切っており、ここ数年で最も低い参加率となった。天候が良かったにもかかわらず、この結果となったことについて、原因は図りかねている。

委員 一部、騒がしい集団が目についた。参加者全員が心を一つにして式典に臨めるように実行委員が何か誘導する工夫はできないか。

生涯学習室長 一部、騒がしい集団がいたことは、申し訳なく思っている。指摘の件については、今後、取れる対応がないか検討していきたい。

委員 騒ぎに対して、職員の対応は非常に迅速であった。早い段階でなだめたことにより、大きな騒ぎになることを未然に防ぐことができたのだと思う。

シャトルバスの利用率が上がった理由はあるのか。

生涯学習室長 直接の理由はわかりかねる。

委員 式典は厳かな場である。20分程度であるが、参加者が協力して厳粛な空気のもと式典に参加する気運を醸成することはできないのか。

教育次長 式典に参加している新成人の態度は、5年前の教室と同じように感じる。学校では、多くの生徒はマナー良く話を聞いているが、一部、他人への配慮が薄い生徒がいる。小中学校の教育の中で、態度やマナー等といった行動について、「褒める」または「叱る」必要があったのではないか。中学校までの状況がそのまま5年後の成人式での態度に表れてきているように感じる。今の指導が5年後に形として表れるということを意識して指導を積み重ねることが大切である。

教育長 騒ぎのあった場所に、警備担当の職員を増やしたのか。

生涯学習室主査 当初の10人に加えて6人増やし、その後、更に3人増やした。また、見回り班にも注意を促すように依頼した。

教育長 弾力的に職員を増やしたことにより、式典をスムーズに運営できたのではないか。

【その他、教育委員から】

委員 小中学校におけるインフルエンザ罹患状況は、どのようになっているのか。

学事課長 1月23日までの集計で、おおむね200名程度が罹患している。小学校11校、中学校3校で学級・学年閉鎖しており、市内一円にインフルエンザが蔓延している状況といえる。

【その他、今後の日程についての報告】

教育長 今後の日程等について、事務局から報告を願う。

総務課長補佐 教育委員会定例会は原則、毎月第4木曜日としているが、市議会の日程の関係から、2月定例会は2月13日(水)の午後3時30分からの開催を予定している。

また、例年2月下旬から3月上旬にかけて教職員人事に関する案件を審議する必要があり、臨時会を開催して対応しているので、後日、日程調整させていただきたい。

教育長 2月定例会は2月13日(水)午後3時30分からの開会を予定している。委員の皆様、日程調整をよろしく願います。

【協議事項】

(1) 平成31年度当初予算(案)に関する件について

(協議事項(1)については、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第21条の規定に基づき、会議録に記載しない。)

午後4時40分閉会